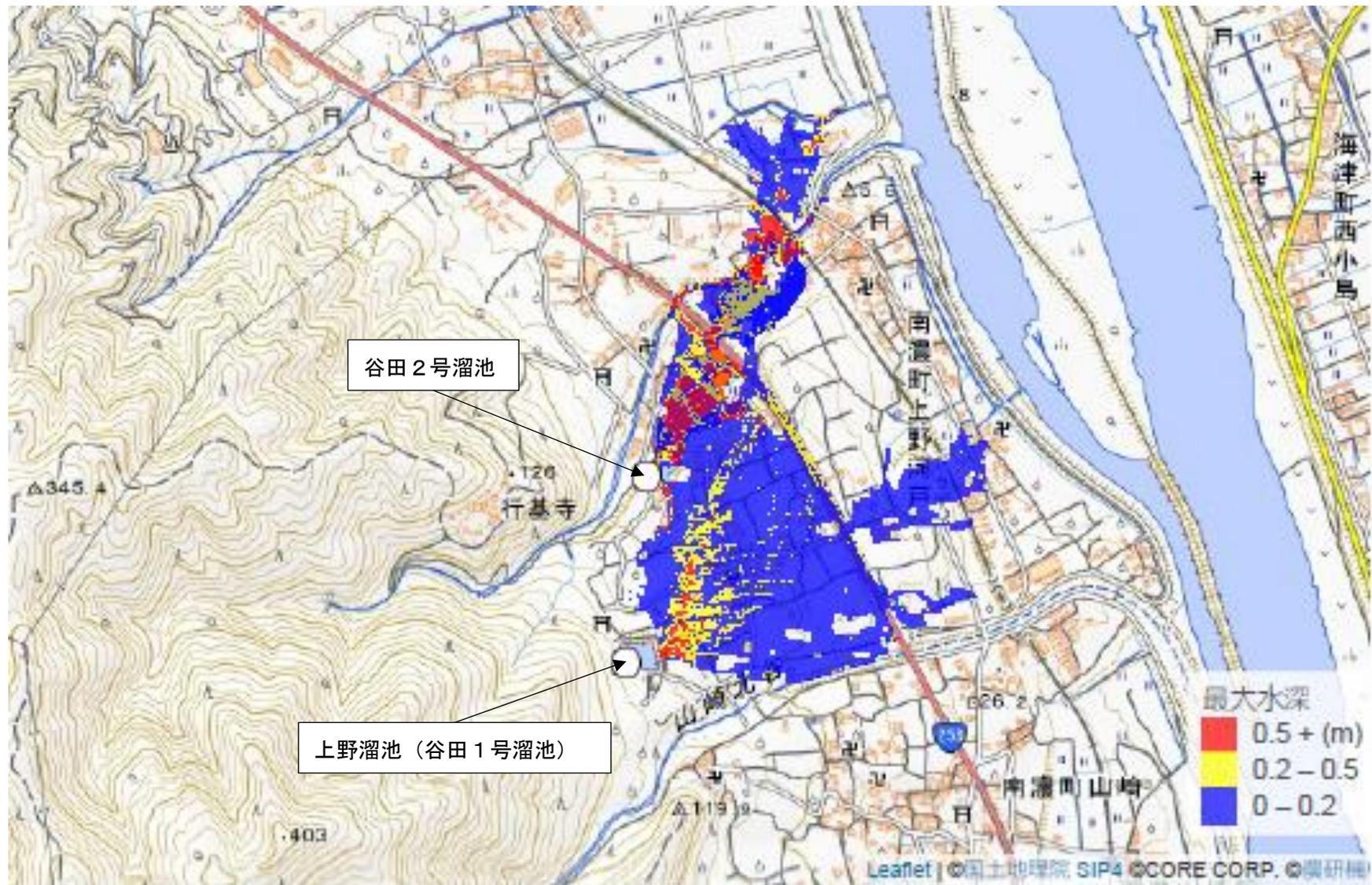


ため池浸水想定区域図（上野河戸地区）



防災マップについて

～この防災マップは～

ため池は、農業用水の水源として利用されるかんがい機能の他、洪水調整機能も有しています。しかし、破堤により水害をおこす危険性を併せ持っています。この防災マップは、地震が発生するという最悪の事態を想定し、ため池決壊による浸水被害の想定と、避難対策等の情報を分かりやすく住民の皆さんに提供することを目的に作成しました。

- 日頃から家族やご近所で災害への対応について話し合い、家から避難所までの経路や家族の連絡先などを書き込んでおきましょう。
- この防災マップを目に付く場所において、いつでも確認できるようにしておきましょう。
- 浸水の発生しやすい場所や状況を日頃から把握し、危険を感じたら自主的避難を心がけましょう。
- 皆さんが災害について関心を持ち、いざという時に落ち着いて行動できるよう、日頃から災害に関する正しい心構えを身につけておくことが大切です。

こんなときには要注意！！

～大雨のとき～

大雨のとき、ため池の水位が上昇し堤防を乗り越えた水の勢いによって堤防が浸食され、決壊することがあります。竹や流木が洪水吐の断面を閉塞させると、堤防を越流しやすくなり、浸食・崩壊の危険性は、いっそう高くなります。



～大地震のとき～

大地震の時に、ため池の堤防が異常な力を受け亀裂が生じることや、地盤の液状化により、決壊する危険性があります。比較的小さな地震でも、堤防の内部に生じた亀裂などにより強度が低下し、水圧に耐え切れず決壊に至ることがありますので、注意が必要です。



いざ！ というときに備えて…

～避難所と避難経路の確認をしておきましょう～

●水は高いところから低いところに流れます。道路は流れの強い洪水の通り道にもなります。洪水になったらどう避難するか地形を見て確認しておきましょう。



～正確な情報収集と自主的避難を心がけましょう～

●ラジオやテレビで正確な情報をキャッチしましょう。
●危険を感じたら、市・警察・消防などに連絡するとともに、自主的に避難しましょう。



～非常持ち出し品を常備しましょう～

●いつでも避難できるように非常持ち出し品を準備しておきましょう。懐中電灯、携帯ラジオ、飲料水、食料品、救急医薬品、お金、貴重品、衣料品、雨ガッパ、防災マップ



～避難の呼びかけに注意を払いましょう～

●危険が迫ったときには、市から避難の呼びかけをすることがあります。テレビ、ラジオ、サレン音などの情報に十分注意し、呼びかけがあった場合は、速やかに避難してください。



避難所の開設/自主防災組織

●避難所

海津市は「指定緊急避難場所・指定避難所」として36箇所、「福祉避難所」として3箇所、の小・中学校等を指定しています。被害の状況に応じて、安全な場所へ避難していただくようお願いいたします。

●自主防災組織

大規模災害の防災に関して、住民の皆さんの果たすべき役割は、非常に大きいものです。日頃の地域活動で積み重ねられた情報を、災害時にも活用できるよう、地域の防災訓練などを通じて、自主的な防災活動を行う組織づくりを目指しましょう。

落ち着いて早めの避難を！！

～早めの避難を！～

●高齢の方、体の不自由な方、子供などは、避難に時間がかかります。早めの避難を心がけましょう。
●荷物は貴重品、必要な食料品、衣料品など必要最低限のものにしましょう。

～避難は2人以上で！～

●ご近所と声をかけ合って、家族やグループで行動しましょう。
●はぐれないようにお互いの体をロープで結んで避難しましょう。
●裸足、長靴は危険です。ひもでしめられている運動靴で避難しましょう。
●避難は必ず歩いて歩きましょう。車やバイクでの移動は、流されたり、転倒することも非常に危険です。
●避難には高い場所にある道路を選びましょう。



～水が来てしまったら無理せずに！～

●水深がひざまでであるようなら、無理をせず高所で救助を待ちましょう。
●屋外を避難することが困難な場合は、屋内の高所階へ避難しましょう。

さあ避難！ そのときに…

